

おおたま学園コミュニティ・スクールだより



令和7年10月24日発行 No.41 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会
(事務局：大玉村教育委員会内 連絡先：48-3138)

オープンスクール、学校運営協議会より

□ 6月20日（金）、玉井小学校においてオープンスクールが実施されました。

4つの授業（1の1生活科、5の1国語科、5の2社会科、サポートルーム2自立活動）が公開され、CS委員も子どもたちが生き生きと活動する授業を参観させていただきました。



先生方の研究会の様子（分科会）



5の1国語科「日常を十七音で」

□ 9月10日（水）には大玉中学校においてオープンスクールが行われました。

5つの授業（4組社会科、2の1国語科、2の2学級活動、3の1英語科、3の2数学科）が公開されましたが、落ち着いた雰囲気の中で課題を追求する子どもたちの姿に感心させられました。



学校課題にアプローチ！（学校運営協議会）



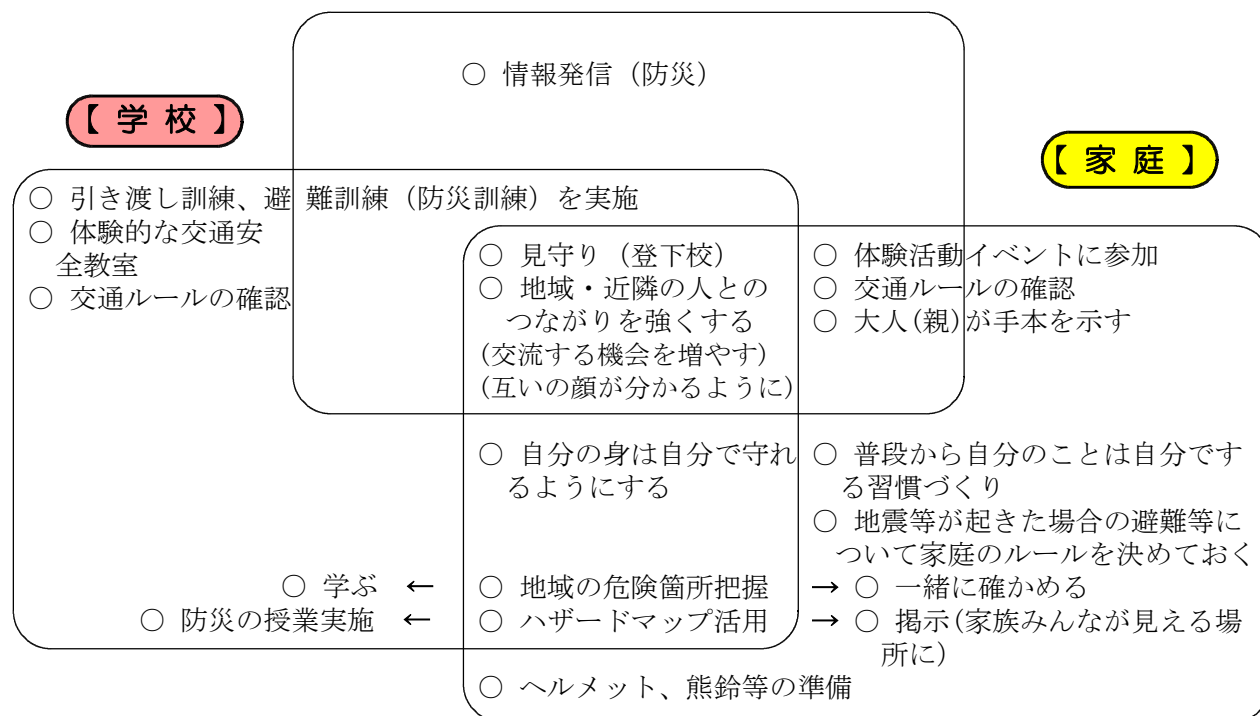
3の1英語科Scene3 Real Life English
グラフや表の活用 レポート

学校運営協議会では、各幼稚園・各学校が設定したテーマについて協議が行われ、活発な意見交換がなされました。以下「地域・家庭・学校ができること・行いたいこと」等主なものを抜粋しました。お読みいただき、1つでも2つでもいいですので、取り組めるものからぜひ実践していきましょう。

玉井幼稚園・玉井小学校 学校運営協議会テーマ

「地域の力で子どもの安全・安心を守る（自然災害・交通事故・不審者等）」

【地域】



大玉中学校 学校運営協議会テーマ

「大玉村のスポーツ・文化・芸術活動を発展させていくためには…」

【施設・設備の充実】

- 村内にスポーツ施設（競技場、スポーツパーク、ドーム等）をつくる。
- 体育館や武道館にエアコンを設置
- いろんな楽器と、演奏会・イベント等の時に楽器を運ぶ専用の車両がほしい。
- 吹奏楽部のステージ衣装（制服）が必要

【指導者の確保】【家庭・地域との連携】

- 専門的な指導者に来てほしい。
→ 地域に発信し募集する、福島大学から派遣してもらう等
- スポ少と部活動の交流（小学校から中学校と継続して指導してもらえるようにする）
- 部活動とスポ少とで一緒に活動する日をつくる（月に1回程度）
- 人材活用できるようなまとめ役があって、そこから指導者を派遣するシステムがあるといい。
- 幼稚園や小学校に出張演奏に出向く。幼・小・中連携のイベントをつくる。
→ 世代を超え、音楽やスポーツにふれる機会を増やす。（大玉村の取り組みとして）

【その他】

- 部活動の地域移行について
 - ・ 教員、保護者、指導者等の思いを出し合い、すり合わせる機会をつくる。どんなところで協力できそうか話し合う場が必要。
 - ・ 地域を発展させていこうという意識改革が必要
- スポーツ等にはかなりコストがかかる。用具などが高価なためやるのを諦めてしまう子もいる。そんな子が安心してできるよう支援や応援が必要。行政からの補助があるといい。場合によってはクラウドファンディングも…
- 多様化への対応
 - ・ 子どもたちの小さい頃からの体験を大事にする。自分の好きなことを伸ばす。
 - ・ 愛好会も OK とする。
 - ・ 子どもたちが自分の意見を言える場をつくる。
- 外部への発信に努めていく（中体連等の大会案内、幼稚園・小学校に活動内容の案内 etc.）